

第14期 中間報告書

証券コード 6629

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

グローバルな「人と社会」に
貢献できる企業であるために



トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
テクノホライゾングループ2024年3月期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。
当社グループは、経営環境の変化に着実に対応し、更なる成長と発展を目指し、2023年4月1日から新たな体制をスタートさせました。新体制では、役員数を大幅に削減するとともに社内カンパニー制を廃止し、事業内容毎の本部制を導入しております。連結子会社も合併を行う等、組織のスリム化や迅速な意思決定が行える体制に移行しました。
事業面では、街に暮らす人々が効率よく快適に暮らし働ける場所に変革するために「Techno Horizon Unicity」構想をスタートさせております。①学校・教育 ②オフィス ③店舗・住居・建設 ④交通 ⑤医療・介護施設 ⑥工場の6つの対象エリアに我々が保有している技術、これから生み出す技術でスマート化された暮らしを創造していきます。
【映像&IT事業】教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売において、国内市場は学校におけるICT機器の導入が想定より進まず、計画を下回りました。海外は、アメリカが計画を下回りましたが、ヨーロッパでは経費削減が進みました。また、業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）においては、半導体関連部品の調達難の影響が緩和し、出荷が進みました。一方、シンガポールやマレーシアで行うサイバーセキュリティ事業は、企業や政府関連施設の大口受注があり大幅に売上高が増加しました。
【ロボティクス事業】前第3四半期連結会計期間に事業を譲り受けた検査装置事業に加え、前期までは非連結子会社であったApollo Seiko Europe B.V.を第1四半期より連結の範囲に含めております。
主力であるFA関連機器が、国内市場では労働力不足による工場の省力化ニーズが高く堅調でした。しかし、中国では設備投資意欲の後退の影響を受け計画を下回りました。
【結果】当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、連結範囲の拡大により売上高23,286百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。利益面では、経費削減が進んだことに加えて、円安による為替差益を481百万円計上しました。この結果、営業利益161百万円（前年同四半期は営業損失664百万円）、経常利益680百万円（前年同四半期は経常損失304百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失454百万円）となりました。



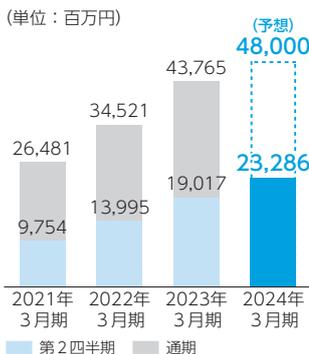
代表取締役社長
野村 拓伸

業績ハイライト

売上高

232億86百万円

前年同四半期比 22.4% UP▲



経常利益又は経常損失

6億80百万円

前年同四半期比 —



親会社株主に帰属する
当期純利益又は純損失

2億93百万円

前年同四半期比 —



1株当たり配当金

10円00銭

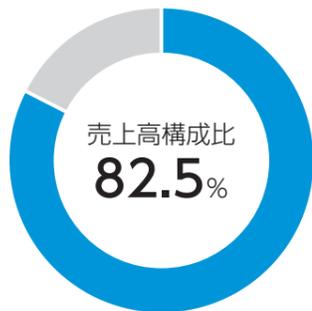


セグメント別概況

映像 & IT セグメント



学校教育ソリューション事業 オフィス・経営ソリューション事業
自動車ソリューション事業 医療ソリューション事業
セキュリティソリューション事業 マシンビジョンソリューション事業



売上高 192億17百万円
前年同四半期比 25.9%増

営業利益 1億16百万円
前年同四半期比 ー

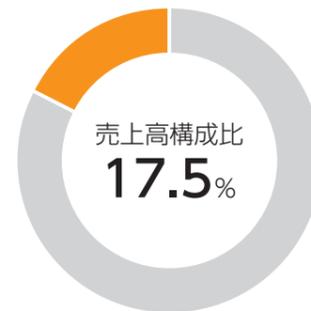
事業状況

映像 & IT事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は19,217百万円（前年同四半期比25.9%増）、営業利益は116百万円（前年同四半期は営業損失432百万円）となりました。

ロボティクス セグメント



ロボットソリューション事業 セキュリティソリューション事業
マシンビジョンソリューション事業



売上高 40億68百万円
前年同四半期比 8.5%増

営業利益 46百万円
前年同四半期比 ー

事業状況

ロボティクス事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,068百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は46百万円（前年同四半期は営業損失236百万円）となりました。

トピックス

テクノホライゾングループの動き

連結子会社による中島銅工株式会社の株式取得

2023年9月、アポロ精工が埼玉県ふじみ野市を拠点としてFA市場を中心に、液化ガス式コードレス熱工具及び半田ごてチップの製造・販売を行う中島銅工株式会社の全株式を取得しました。



「IT導入補助金2023」のIT導入支援事業者に採択

2023年10月、当社と子会社のアドワーが、「IT導入補助金2023」（令和4年度第二次補正サービス等生産性向上IT導入支援事業）において、コンソーシアムとして「IT導入支援事業者」に採択されました。また、アドワーの内部統制ソリューション「QPR J-SOX（キュービーアールジェイソックス）」が、IT導入補助金対象のITツールとして認定されました。



テクノホライゾン ソリューションEXPO 2023 名古屋開催

2023年10月11日-12日の2日間、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて、テクノホライゾンが考えるスマートシティ構想「TECHNO HORIZON UNICITY ～街を見渡せば、いつのまにかテクノホライゾン～」をテーマに、テクノホライゾングループが保有している技術、これから生み出す技術で、スマート化された暮らし「TECHNO HORIZON UNICITY」への取り組みをご紹介します。



ELMO光触媒コーティングサービス提供開始

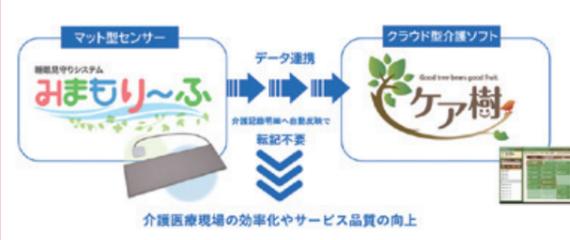
2023年7月、即効性・持続性・安全性を持つ光触媒「ナノゾーンコート」を使った抗菌・抗ウイルスサービス「ELMO光触媒コーティングサービス」の提供を開始しました。



医療

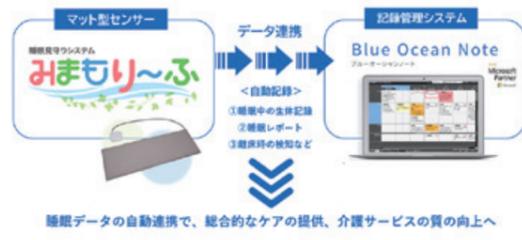
「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」×「クラウド型介護ソフト ケア樹」睡眠データのデータ連携開始

2023年7月、非接触で睡眠中の生体情報や睡眠の質を検知する「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」と、株式会社グッドツリーの「クラウド型介護ソフト ケア樹」との間で、介護医療現場の効率化やサービス品質の向上を目的としたデータ連携を開始しました。



「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」×「介護記録管理システム ブルーオーシャンノート」睡眠データのデータ連携開始

2023年8月、非接触で睡眠中の生体情報や睡眠の質を検知する「睡眠見守りシステム みまもり〜ふ」が、株式会社ブルーオーシャンシステムの「記録管理システム ブルーオーシャンノート」との間でデータ連携を開始しました。



教育

xSync Board/ELMO Board 2023年度モデル発売

2023年5月、映す・書く・保存する・共有するという基本的な4つの機能を1台に搭載し、学校・教育機関や企業などの用途に合わせてご利用いただける電子黒板のスタンダードモデルとハイグレードモデルを発売しました。



4Kインタラクティブ書画カメラ (実物投影機) L-12G 発売

2023年5月、オンライン配信がかんたんにできる「みエルモん Studio」機能を搭載した、学校、教育機関向け、4Kインタラクティブ書画カメラ（実物投影機）「L-12G（愛称：みエルモん）」を発売しました。



ChromeOS Flex搭載電子黒板 発売

2023年7月、一体型電子黒板「xSync Board」シリーズの新モデルとして、Googleが提供する ChromeOS Flexを搭載した「ChromeOS Flex搭載電子黒板 Techno Horizon ELMO Chrome-OPS S084」を発売しました。



安全生活

航空機整備現場へのウェアラブルカメラ導入協力

2023年5月、MRO Japan株式会社が推進する、ウェアラブルカメラ・5Gを航空機整備の現場で活用し、整備品質の向上を実現した、航空機整備のデジタルトランスフォーメーション（DX）の協力会社として、ウェアラブルカメラ「EW-1」（360台）を提供しました。



ネコ型配膳ロボット BellaBot（ベラボット）がミュージックビデオに出演

2023年6月、当社が販売するネコ型配膳ロボット BellaBot（ベラボット）が、工藤祐次郎さんが歌う「たのしいひとり」（WOWOW連続ドラマ主題歌）のミュージックビデオに出演。美術協力をしました。



FA

次世代のレーザー自動はんだ付けロボット「J-CAT STAR GATE」発売

2023年6月、アポロ精工が、従来のはんだ付け温度のばらつき問題を解決した次世代のレーザー自動はんだ付けロボット「J-CAT STAR GATE」を発売しました。



世界初の磁気集中技術によるIH自動はんだ付けロボット「J-CAT WAVE」発売

2023年6月、アポロ精工が世界初の磁気集中技術により局所的なセルフヒーティングを実現したIH（誘導加熱）自動はんだ付けロボット「J-CAT WAVE」を発売しました。



セレクトティブフローはんだ付け装置「AF iN4050 Z3-J」発売

2023年8月、アポロ精工が現行機であるセレクトティブフローはんだ付け装置「AF iN4050 Z3」をリニューアルした「AF iN4050 Z3-J」を発売しました。



Chromasens社製品 取り扱い開始

2023年8月、アド・サイエンスがドイツのマシンビジョンカメラメーカーであるChromasens社製品の取り扱いを開始しました。



会社概要

2023年9月30日現在

商号 テクノホライズン株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON CO.,LTD.)
設立 2010年4月1日
事業内容 「映像&IT事業」及び「ロボティクス事業」に属する商品の開発・製造・販売
所在地 〒457-0071
愛知県名古屋市中区千種通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551(代)
代表者 代表取締役社長 野村 拓伸
資本金 25億円
従業員数 連結1,459名
ホームページ <https://www.technohorizon.co.jp/>

役員

2023年9月30日現在

代表取締役社長兼CEO 野村 拓伸
取締役 口野 達也
取締役 加藤 靖博
取締役(社外) 寺澤 和哉
取締役(社外) Anis Uzzaman
常勤監査役 渡邊 哲也
監査役(社外) 原田 彰好
監査役(社外) 飯田 浩之
監査役(社外) 井上 龍哉

株式情報

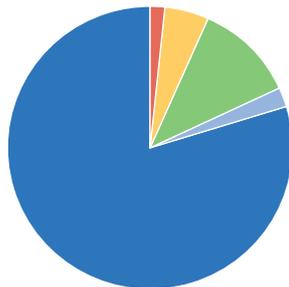
2023年9月30日現在

株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 21,063,240株
株主数 9,496名

所有者別状況

金融機関 369千株 1.75%
金融商品取引業者 1,048千株 4.98%
国内法人 2,413千株 11.46%
外国人等 497千株 2.36%
個人・その他 16,734千株 79.45%



(注) 自己株式7,586千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
株式会社SBI証券	346	2.57
テクノホライズン従業員持株会	301	2.24
榊 泰彦	295	2.20
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
榊 雅信	255	1.89
楽天証券株式会社	216	1.60
榊 順子	160	1.19
バンセイアーユルヴェーダ株式会社	132	0.99

(注) 1. 当社は、自己株式7,586千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日
(2) 中間配当を行う場合 9月30日
(3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.technohorizon.co.jp/ir/stocks/koukoku/>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライズン株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋市中区千種通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551(代)

